

○石川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等または耐水型都市づくり等による洪水対策を実施します。太井川、水越川を除き、大乗川、梅川、佐備川、天見川では、時間雨量50ミリ程度の降雨、石川、飛鳥川、石見川では時間雨量65ミリ程度の降雨、千早川、宇奈田川、加賀田川、原川では時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※下水は市町村ごとに対象降雨が異なります。

大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

- 石川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。

【中 期】 河道改修の推進。

【中 長 期】 河川別の目標時間雨量対策の達成とため池の治水活用を完了。

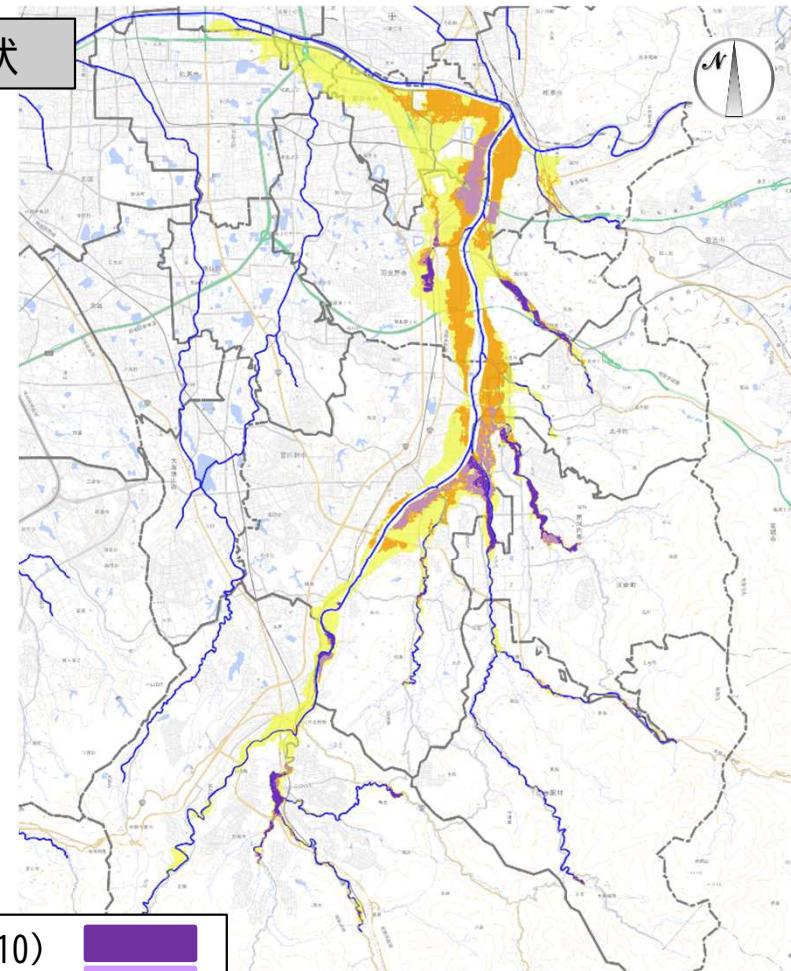
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道改修・耐水型整備	大阪府	大乗川外6河川着手 宇奈田川概成	石川河道改修区間概成 千早川外3河川第1期区間概成	石見川外7河川概成 石見川外2河川着手 千早川外3河川第2期区間着手
	洪水調節施設の整備	大阪府	調査・検討		
	河道内の堆積土砂除去	大阪府		定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施	
	下水道等排水施設の整備	大阪府、羽曳野市、藤井寺市、富田林市			
	大和川治水計画の更新	国土交通省	検討1/30⇒1/200		
	砂防堰堤の築造	大阪府			保全対象の状況により適宜事業化
	ため池及び農業用施設等の治水活用	大阪府、市町村、民間	調査・検討		
	治山施設、森林の整備・保全(飛鳥川・梅川・水越川・天見川・加賀田川・石川)	大阪府	R6年度より森林環境税を活用した、森林区域での流域治水対策を実施		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市			
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、民間、気象台	洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R6年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・災害リスクの現地表示 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村	雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)		

河川整備等による効果

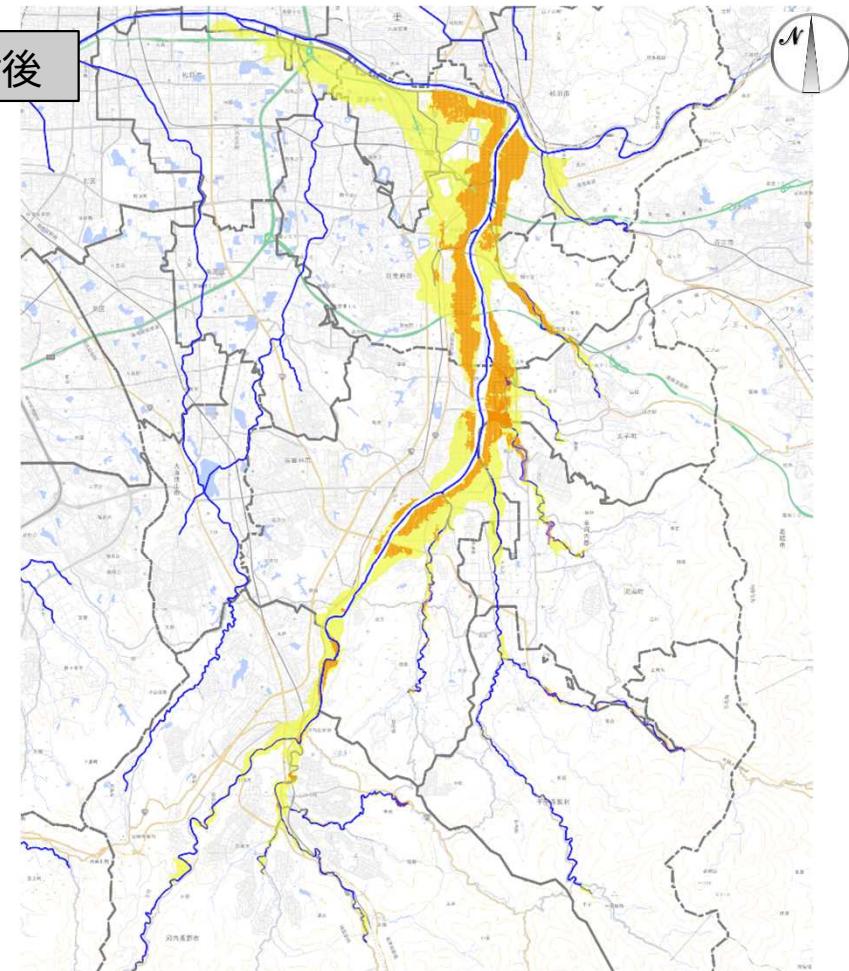
石川、飛鳥川、石見川、大乗川、梅川、佐備川、天見川：河道改修のほか、梅川上流、佐備川上流、石見川における耐水型整備により、時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

千早川、宇奈田川、加賀田川、原川：河道改修のほか、加賀田川上流における耐水型整備により、時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率: 5%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



1市

(令和5年度末時点)

流出抑制対策の実施

既存防災調節池等
3施設

(令和5年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策

治山対策 1箇所

(令和5年度実施)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成

2市

(令和5年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備洪水浸水
想定区域
13河川雨水出水
浸水想定区域
1団体

(令和5年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保避難確保
計画 洪水
土砂
高潮52施設
41施設
－

(令和5年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道拡幅・河道掘削の取組

時間雨量50mmの降雨による床下浸水の発生と時間雨量65mm程度の降雨による床上浸水の発生を防ぐため河道改修を行っています。



梅川
整備区間は中之橋下流から大宝橋上流の0.6km区間の河道拡幅、河床掘削を行っています



大乗川
整備区間は石川合流点から近鉄長野線橋梁下流の1.9km区間で河床の切り下げを行っています

被害対象を減少させるための対策

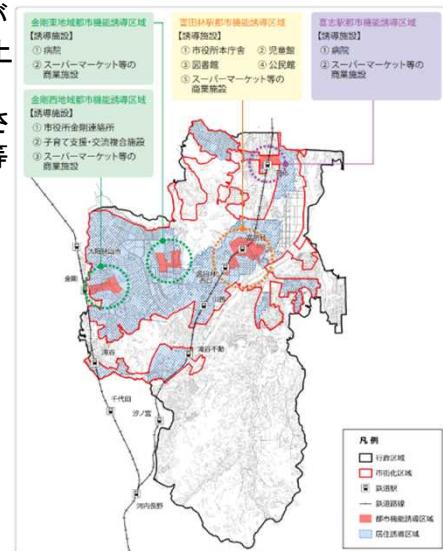
富田林市の立地適正化計画の取組

富田林市では、災害リスクの考えられる区域は、居住誘導区域に含めないように設定している。

(災害リスクの考えられる区域)

- ・土砂災害警戒区域
- ・浸水想定区域

(想定最大規模降雨条件 [概ね年超過確率1/1000年]の浸水想定が3m以上(2階以上に浸水が生じ、自宅避難が困難とされる。)の区域)等



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

コミュニティタイムライン作成の取組

河内長野市では、令和5年に2地区において地域版ハザードマップの作成とともに、地域内の危険箇所や避難経路などの情整理を行い、コミュニティタイムラインを作成した。また、整理した情報の現地確認をし、災害に対する住民意識の向上を図った。



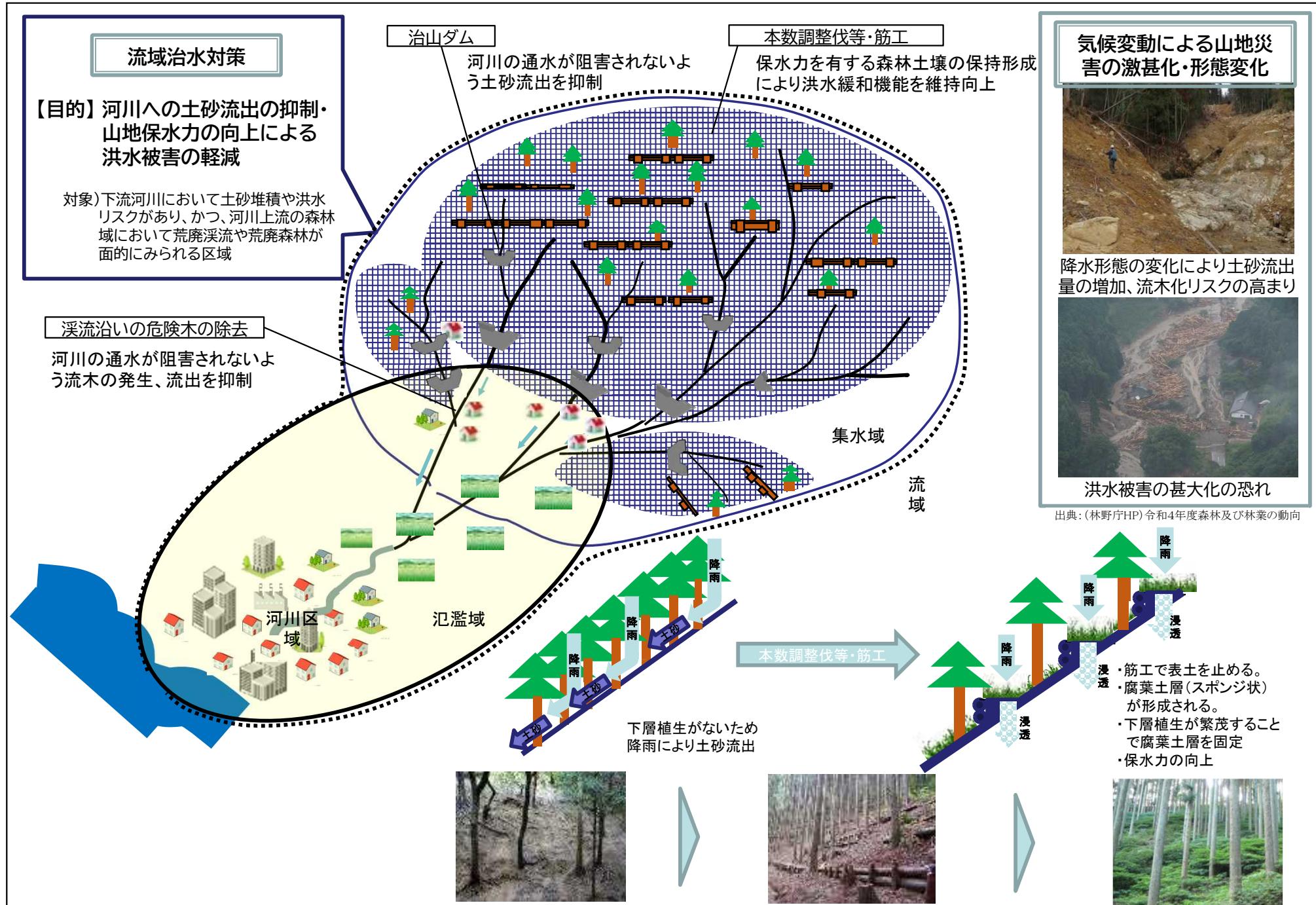
コミュニティタイムライン作成時のワークショップの様子
(末広地区)



整理した情報の現地確認の様子
(寺本地区)

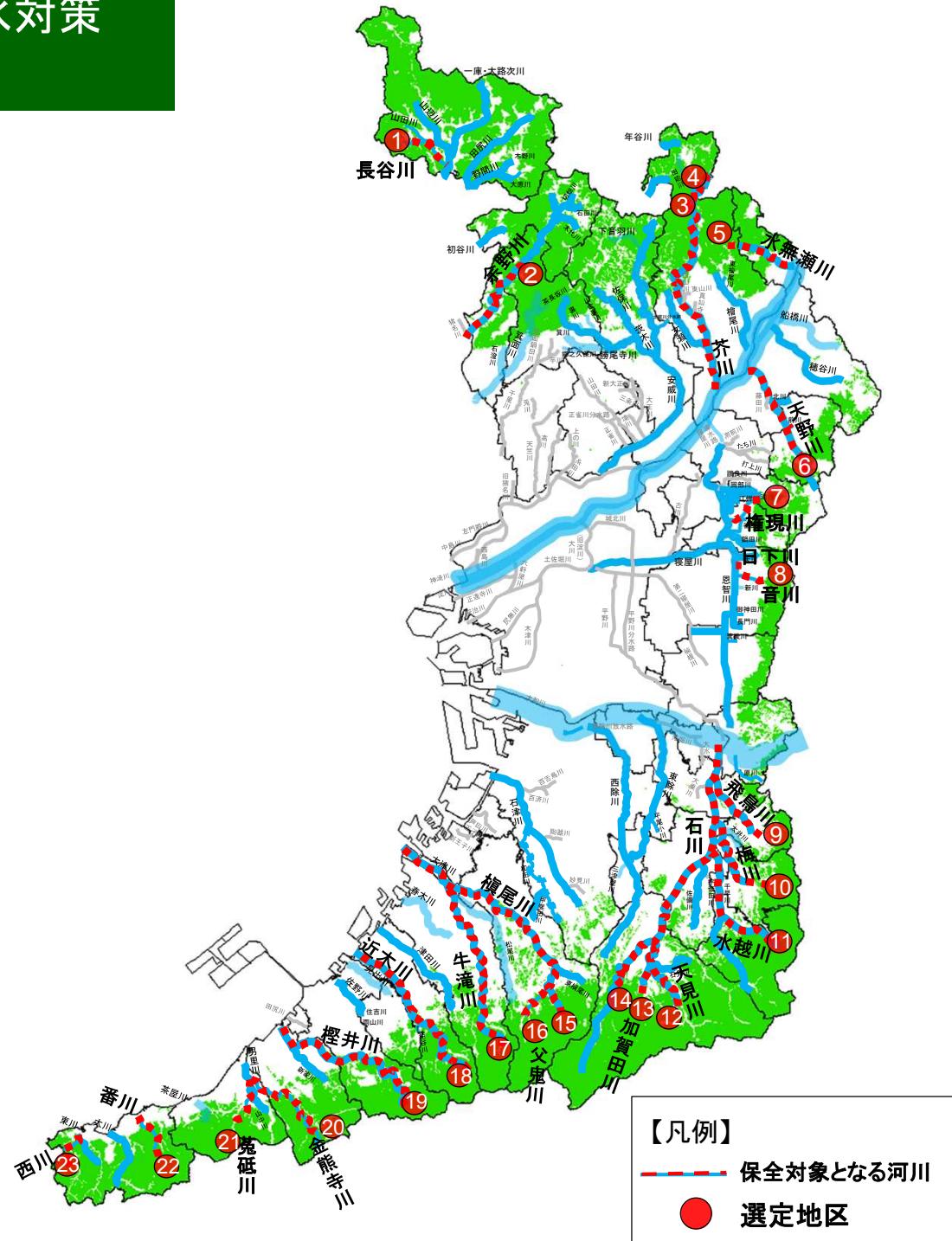
集水域における流域治水対策（土砂流出抑制・山地保水力向上）

(参考)森林環境税の取組

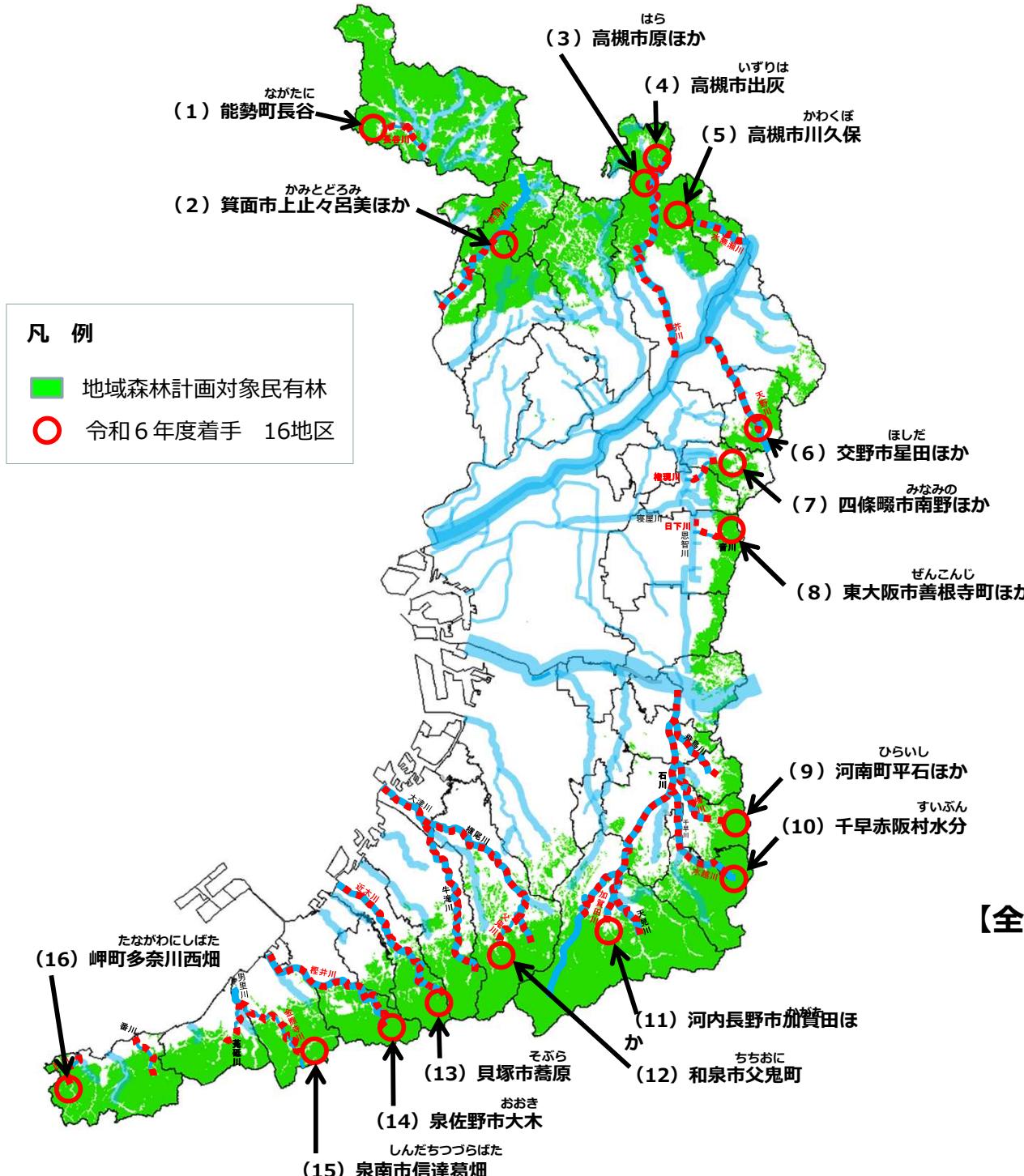


集水域(森林区域)における流域治水対策 選定地区

No.	市町村	地区名	水系ブロック	河川名
1	能勢町	長谷	猪名川上流	長谷川
2	箕面市	上止々呂美ほか	猪名川下流	余野川
3	高槻市	原ほか	淀川右岸	芥川
4	高槻市	出灰	淀川右岸	芥川
5	高槻市	川久保	淀川右岸	水無瀬川
6	交野市	星田ほか	淀川左岸	天野川
7	四條畷市	南野ほか	寝屋川	権現川
8	東大阪市	善根寺町ほか	寝屋川	日下川、音川
9	太子町	山田	石川	飛鳥川
10	河南町	平石ほか	石川	梅川
11	千早赤阪村	水分	石川	水越川
12	河内長野市	清水ほか	石川	天見川
13	河内長野市	加賀田ほか	石川	加賀田川
14	河内長野市	日野ほか	石川	石川
15	和泉市	仏並町	大津川	槇尾川
16	和泉市	父鬼町	大津川	父鬼川
17	岸和田市	大沢町	大津川	牛滝川
18	貝塚市	薺原	近木川	近木川
19	泉佐野市	大木	樺井川	樺井川
20	泉南市	信達葛畠	男里川	金熊寺川
21	阪南市	桑畠	男里川	菟砥川
22	岬町	淡輪	番川	番川
23	岬町	多奈川西畠	東川	西川



【令和6年事業 実施地区】



令和6年度計画数量

地区名	令和6年度 16地区			
	測量設計	治山ダム (基)	渓流延長 (m)	森林整備 (ha)
(1) 能勢町長谷 (ながたに)	○	-	-	5.0
(2) 箕面市上止々呂美ほか (かみとどろみ)	○	-	-	3.0
(3) 高槻市原ほか (はら)	○	-	-	-
(4) 高槻市出灰 (いすりは)	○	-	-	1.0
(5) 高槻市川久保 (かわくぼ)	○	-	-	0.5
(6) 交野市星田ほか (ほしだ)	○	-	-	-
(7) 四條畷市南野ほか (みなみの)	○	-	-	5.0
(8) 東大阪市善根寺町ほか (ぜんこんじ)	○	-	-	3.0
(9) 河南町平石ほか (ひらいし)	○	-	-	5.0
(10) 千早赤阪村水分 (すいぶん)	○	-	-	3.0
(11) 河内長野市加賀田ほか (かがた)	○	-	-	3.0
(12) 和泉市父鬼町 (ちちおに)	○	-	-	8.0
(13) 貝塚市蒼原 (そぶら)	○	-	-	7.0
(14) 泉佐野市大木 (おおぎ)	○	-	-	10.0
(15) 泉南市信達葛畠 (しんだちつづらばた)	○	-	-	2.0
(16) 岬町多奈川西畠 (たながわにしばた)	○	-	-	2.0
16地区	16	-	-	57.5

【全体計画】

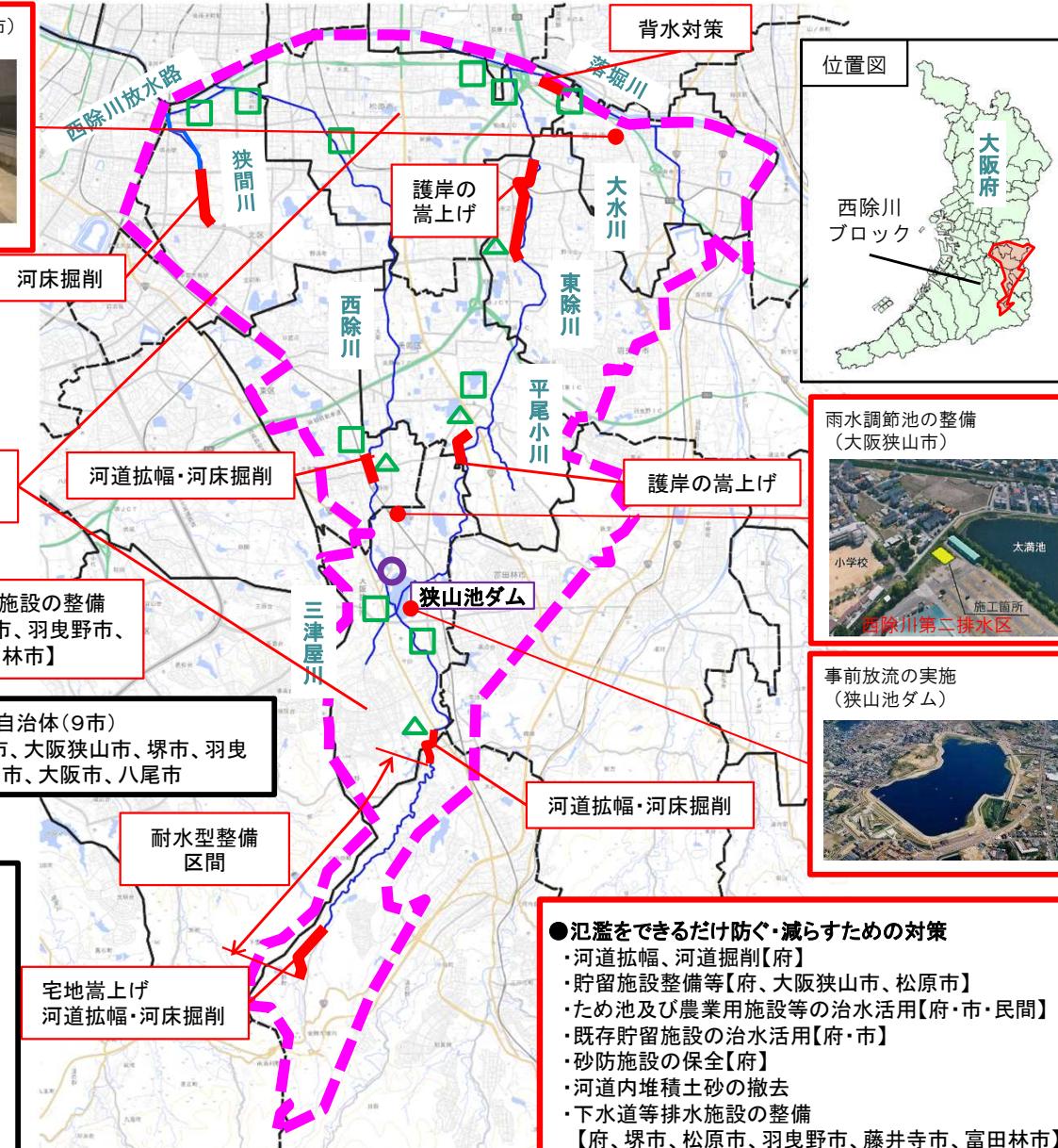
	新規着手	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
令和6年度着手	16地区	1 6	1 6	1 6	1 4	1 1
令和7年度着手	5地区		5	5	5	5
令和8年度着手	2地区			2	2	2
合 计	23地区	1 6地区	2 1地区	2 3地区	2 1地区	1 8地区

○西除川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等による洪水対策を実施します。西除川放水路、三津屋川、落堀川、大水川、平尾小川では、現状で当面の目標を達成しており、西除川の狭山池ダムより下流では時間雨量80ミリ程度の降雨、西除川の狭山池ダムより上流、東除川、狭間川では時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

雨水幹線の改修（藤井寺市）



西水路雨水幹線改修



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※下水は市町村ごとに対象降雨が異なります。

大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進～

- 西除川ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短 期】 市街地の水災害発生を未然に防ぐため、河道改修を実施。
- 【中 期】 河道改修の推進およびため池の治水活用の検討、老朽化護岸の更新。
- 【中 長 期】 1/100確率降雨（西除川下流）1/30確率降雨（西除川上流・東除川）に対して浸水を発生させない対策とため池の治水活用を実施。

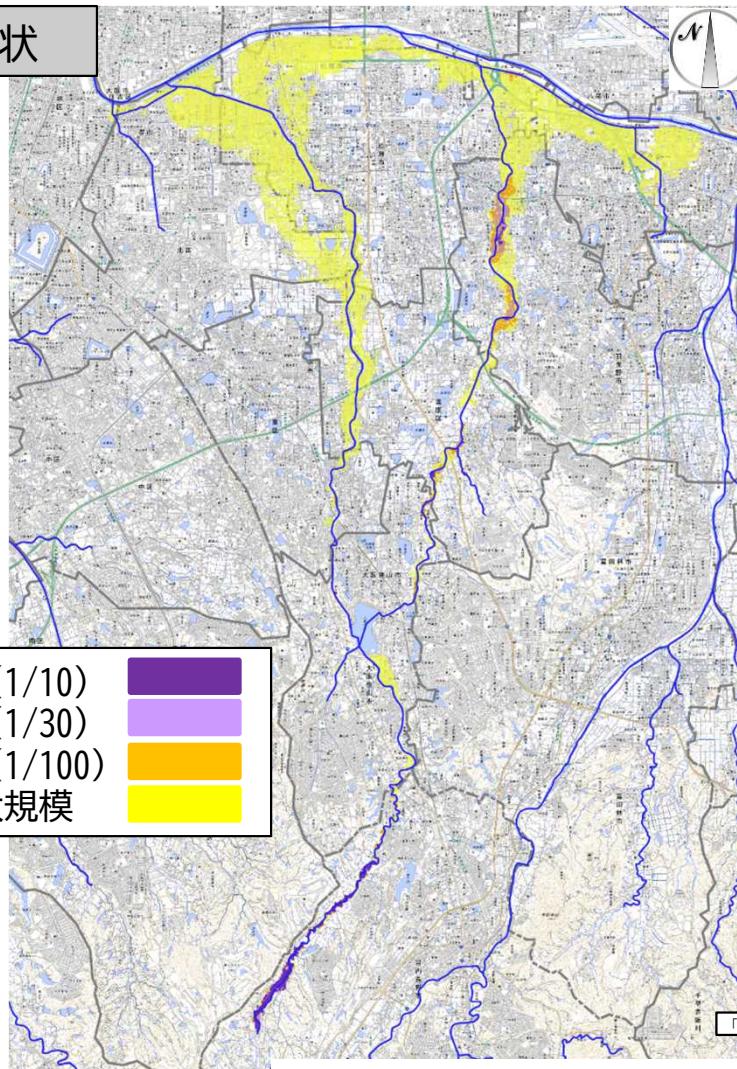
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	落堀川、西除川、東除川の河道改修・耐水型整備	大阪府	落堀川(概成) 西橋上流～中橋上流	西除川(概成) 草沢橋～天野橋 改進橋上流～南海高野線 東除川(概成) 新高鷲橋～新伊勢橋 菅生橋～福井橋	西除川 天野橋上流～上条橋
	ため池及び農業用施設の治水活用	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市、民間	調査・検討		
	狭間川河川改修事業(緊自債)	堺市			定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施
	河道内の堆積土砂除去	大阪府			定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施
	老朽化護岸の更新	大阪府	東除川第1期(概成)		東除川第2期(概成)
	雨水ポンプ場整備・管きょ整備	大阪府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、大阪狭山市、堺市			
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪市、八尾市、民間、気象台		洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R6年度)	
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪市、八尾市、民間、		雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)	

河川整備等による効果

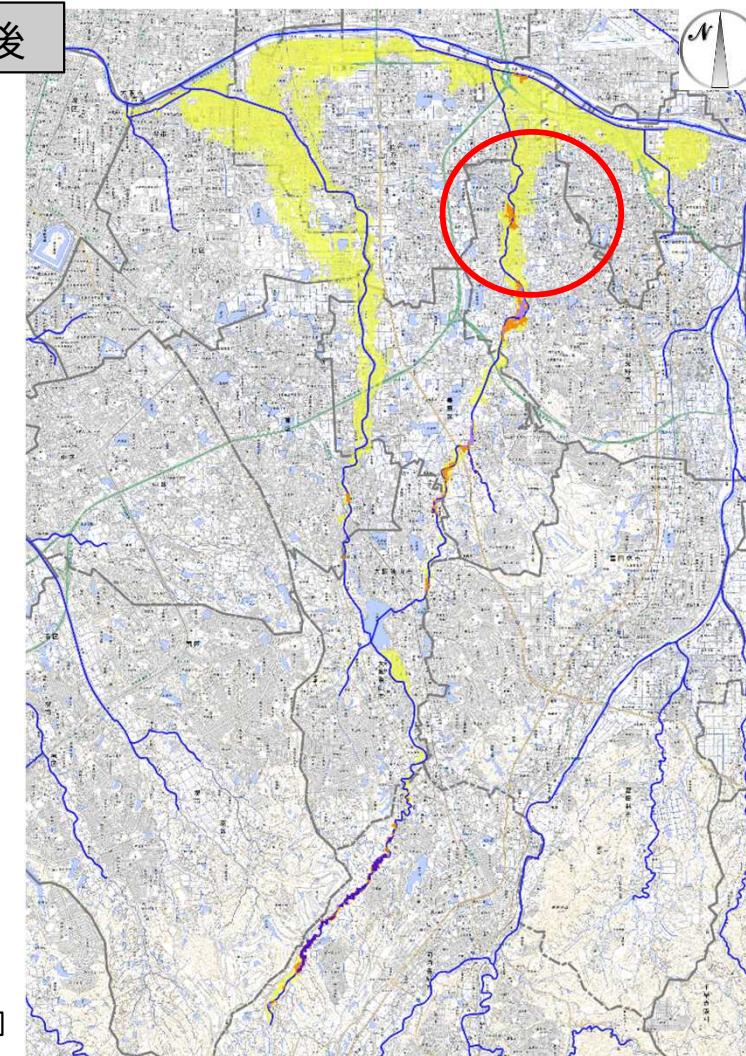
西除川：河道改修及び耐水型整備（ダム上流）により、時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

東除川：河道改修により時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H31）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率： 97%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



※現在精査中
(令和5年度未時点)

流出抑制対策の実施



※現在精査中
(令和5年度未時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



※現在精査中
(令和5年度実績)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



3市

(令和5年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域
7河川
雨水出水
浸水想定区域
4団体
(令和5年度未時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画
洪水238施設
土砂
高潮
9施設
－
(令和5年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

狭山池ダムの事前放流



狭山池ダムは治水容量100万m³の洪水調整機能を持っているが、事前放流を行うことで46万m³の洪水調整機能の追加をすることができる。

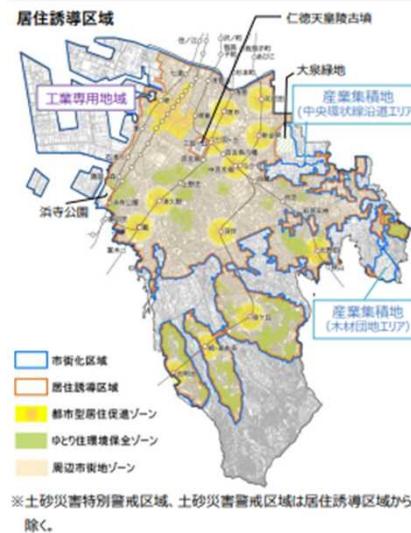


被害対象を減少させるための対策

堺市の立地適正化計画の取組

災害リスクのあるエリアや産業集積地が形成されているなど、居住の誘導に適していない区域については居住誘導区域に含めない。

また、現状で人口密度が低く産業系土地利用や緑地空間がまとまっているなど、土地利用の状況に応じた区域を設定している。



地域防災力強化を図る取組

大阪狭山市では令和5年に地域で防災リーダーとして活躍いただいている防災士資格所得の方や防災活動の中心となる自主防災組織の方を主な対象として、「市民防災力を高めるために」をテーマに大学の学識経験者による安全・安心セミナー講演会を行った。

講演会の様子

